

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふりーだむ 子ども支援センター 出町		
○保護者評価実施期間	2026年1月31日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31世帯	(回答者数) 27世帯
○従業者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの支援と安全性を重視した職員の体制づくりを行っていること。	送迎専任の職員を配置し、指導員や保育士が子どもの支援に専念できるように配置を工夫している。	人材確保のため、待遇の改善を図っている。
2	保護者の方に対して、きめ細やかな情報提供を図っていること。	個別の連絡帳は保護者の方に子どもの様子が伝わりやすいような書き方に努めたり、指導員が書きやすいような書式に工夫したり、より良い形を模索している。 事業所の取り組みについては、毎月の会報に加え、SNSやLINEを活用して周知を図っている。	保護者からのニーズに応えられるように、さまざまなツールを使いながらさらなる情報提供や共有、周知を図ってきたい。
3	職員会議や研修を通して、子どもの支援の共有と統一を図り、チームアプローチに取り組んでいる。	年間スケジュールで毎月の職員会議や研修を予め周知しており、見通しを持って参加できるようにしている。 できるだけ早く議事録を作成し、いつでも確認できるようにしている。	来年度は新たな企画のもと、より支援力・チーム力の向上に役に立つ研修を予定している。 また、常勤・非常勤が分け隔てなく外部研修に参加できるように環境整備を行ないたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害訓練を定期的に行なっているが、保護者の方への報告がうまくできておらず、アンケートの評価に反映できていない。	紙ベースでの周知・報告がメインであるため、実施した訓練が十分に伝えきれていない可能性がある。	予約表への明記やLINEでの確認・報告を行なうなど、周知徹底を工夫したい。
2	地域の方に知っていただく機会を作れておらず、地域に開かれた事業運営があまりできていない。	公共施設の利用はあるものの、地域の方との交流を目的とした活動ができていない。	今年度は指導員が子どもたちの作品を高校の文化祭で販売することができた。来年度以降には子どもにも参加できるような機会を作ってきたい。
3	自立支援協議会などに積極的に参加できていない。	開催時間の問題や人員に余裕がないことで参加することが難しい場合がある。	新しい職員の応募が少ないため、賃上げや待遇面での見直しを図っている。